

新たな旅のスタイルの提案

安全・安心・清潔な列車の旅の提案

新たな旅のスタイルを促進すべく、「安全・安心・清潔」で選ばれるプロモーションを実施します。その一環として、Webサイトを制作し、分散型旅行やワークショップ、非接触・非対面化での、新しい旅を提案しています。

(1) New Raillife

○コロナを契機とする日常生活や行動、価値観の変容を踏まえた新しい鉄道の利用スタイルを包括して「New Raillife」として取り組みます。

- 非対面・非接触サービスの強化
 - ・「話せる券売機」の導入拡大
 - ・「新幹線eチケットサービス」の利用促進
 - ・在来線「えきねっと」チケットレス商品の拡充
- 分散型旅行の促進（時間・場所・季節の分散）
 - ・時間の分散：ご利用の少ない列車・時間への誘導（「えきねっとくだ値」の設定等）
 - ・場所の分散：宗谷、富良野・美瑛、ひがし北海道等の地域キャンペーンの充実
 - ・季節の分散：閑散期への誘導

New Raillife

さあ、新しい日常へ。
New Raillifeロゴ



New Raillife特設サイト



(2) 札幌圏輸送

- 快速エアポートの品質向上を進めます。
- 「北海道ボールパークFビレッジ」の試合開催に合わせた輸送力確保に努め、鉄道利用の促進に努めます。

- 快速エアポートの品質向上
 - ・シート「えきねっとチケットレス座席指定券」の利用促進
 - ・721系快速エアポート車両の更新に向けた準備
 - ・雪害対策の強化による冬期の安定性向上
 - ・運転本数等の利便性PR
- 北海道日本ハムファイターズとのタイアップ（えきサイト!モバイルdeラリー2023、選手の宣伝起用など）



ボールパーク開業後の北広島駅の様子

(3) 都市間輸送

- 「収益の最大化」を図るため、在来線イールドマネジメント*の強化を検討します。
*需要変動を予測し、商品ごとの価格や提供座席数をAIにより自動でコントロールすることで「収益最大化」
- 競合する他の交通機関に対抗できる価格・サービスを提供し、鉄道の競争力を確保します。

- 鉄道の競争力確保 ・在来線特急列車への「えきねっとくだ値」「お先にくだ値」の設定
- WEB広告の活用によるターゲットに応じた広告配信
- 航空会社と連携した取り組みの継続・拡充
- インバウンド需要の回復に合わせた取り組み ・SNSなどデジタルコンテンツを活用したプロモーション



「えきねっと」入会促進広告の実施

(4) 鉄道ならではのコンテンツの活用

- 鉄道ファン層をターゲットに、当社の鉄道資産を活用した集客力のあるツアーやイベントを販売し、収入の確保を図ります。

- 旅行会社と連携した「新幹線車両基地見学ツアー」の販売
- 車両撮影会など、JRE MALLを活用したイベントの販売



新幹線車両基地見学ツアーの様子



車両撮影会の様子

観光列車の取り組み

観光列車の新たな取り組み

観光振興や沿線地域の活性化、地域連携による観光流動の創出を図るとともに、「ニューノーマルへの対応」の視点を取り入れ、「はまなす」「ラベンダー」編成を活用した取り組みを実施します。

HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号の運行

「HOKKAIDO LOVE!ひとめぐり号」は2022(令和4)年9・10月に、全国のお客様を対象に、JR北海道の多目的特急車両「はまなす」及び「ラベンダー」編成にご乗車いただき、3泊4日で北海道内を周遊する貸切列車でのツアーとして実施しました。本ツアーは、「ひとつの列車で、ひとめぐり。北海道」のコンセプトのもと、「JALふるさとアンバサダー」が車内でオリジナルアナウンスやじゃんけん大会等を実施したほか、沿線自治体の皆様からは、お客様のお出迎えやおもてなし、車内での特産品販売や観光PR等にご協力をいただくなど、移動時間も皆様にお楽しみいただけるような企画をご用意しました。



花たび そうや号の運行

花たび そうや号は、2022(令和4)年に3年越しのデビューとなり多くのお客様に沿線の魅力を体感していただきました。2023(令和5)年は、4両編成で運転を行い、宗谷線沿線地域の皆様によるおもてなしを実施しました。

また、2020(令和2)年度より開始したANAとの連携による宗谷線沿線の魅力発信は、「ANAきた北海道フリーパス・ANA道北フリーパスで急行『花たび そうや』号に乗ろう!」キャンペーンを実施し、宗谷線への誘客や沿線の魅力発信に取り組みました。



THE ROYAL EXPRESSの運行

2020(令和2)年より、北海道胆振東部地震の影響を受けた北海道を応援するため、また、観光振興と地域活性化を目的として東急(株)と共同で北海道での運行を開始しました。

2023(令和5)年は7月下旬から9月下旬まで、従来の札幌から道東エリアを中心としたコースに加えて、今年度より新たに道北エリアを中心とした観光資源を体験できるコースを運行します。

列車の動力となる機関車(当社所有)は「橙・オレンジ」を、列車内サービス用電力を供給する電源車(東急電鉄(株)所有)は「白・ホワイト」をメインカラーとし、「THE ROYAL EXPRESS」(伊豆急行(株)所有)のロイヤルブルーが、旅を楽しく美しく演出します。本列車は、水戸岡鋭治氏がデザインしています。



SL冬の湿原号の運行

SL冬の湿原号は、2021(令和3)年度から内装のリフレッシュなどのリニューアルを実施し、2022(令和4)年度に完了しました。

白銀の釧路湿原を力強く疾走する「SL冬の湿原号」は、冬の釧路観光の風物詩です。1・5号車の「たんちょうカー」に加え、2〜4号車「ストーブカー」はノスタルジーを感じるとこ懐かしいレトロな室内へリニューアルし、魅力度がアップしました。



たんちょうカー



ストーブカー